

PTA役員の特性と現状の問題点について

PTA役員の特性

PTAは、他の会社などの組織と比べて決定的に違うところは単年度で役員が入れ替わり、引き継がれた内容を行うことでほぼ任期を終えてしまうという点です。

PTA役員の現用の問題点

現状のPTA役員の問題点は、以下の3点です。

- PTA役員の仕事の内容が長年受け継がれた内容で、時代にそぐわないものもあり、負担が大きく役員を引き受けにくい状況であること。
- 下のお子さんが入学を控えた段階で、学童保育に預けられるか否かにより、上の子で役員を引き受けられるか見通しが見えないこと。
- 年間を通して役員をすることができないご家庭が、PTA活動に参加する機会がないこと。

現状では、学校に通う児童生徒のために取り組むべきことや変更すべきことに手が回らない状態です。

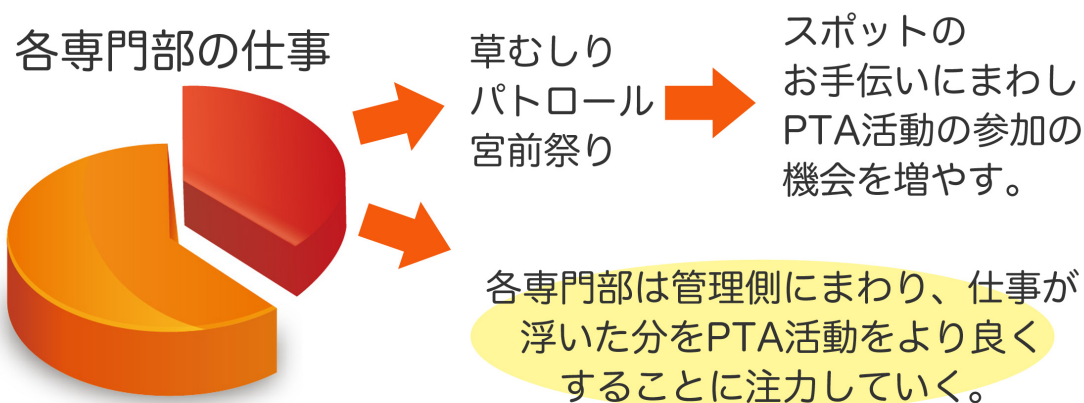
その最大の原因は、各専門部の仕事量が多いことだと考えられます。もちろん必要な活動内容もありますが反面、全く必要ない活動もあるのも現状です。

以上のようなPTA役員の問題点と現状踏まえ、問題点を減らしつつ、各専門部役員は子どもたちの学校生活をよりよくすることにベクトルを向けその年に解決すべき課題に取り組み、次年度の役員に引き継いでいくことが大切だと思います。

制度導入の目的

- ・各専門部の仕事量を減らす
- ・様々なご家庭でもPTA活動に参加できるように
- ・仕事やパート等に影響を与えずにPTA活動が行えるようにすること
- ・主旨・目的をもってPTA活動を行うため
- ・無駄な作業を減らす

制度導入のイメージ図



PTA活動をより良くするために、PTA役員について、

- ①PTA役員ポイントスライド制
- ②スポットポイント制の導入
- ③本部役員の永久不滅ポイントの廃止

の説明を改めてさせていただきます。

①PTA役員ポイントスライド制とは？

お子様が複数いる保護者の方のポイントを有効利用する制度です！
お子様ひとりにつき役員・お手伝いして得たポイントが2ポイントを超えた場合は、在学中の下のお子様に引き継ぐことができます。
また、未就学児（年長さん（5歳児））は、上のお子さんの2ポイントを超えた分のポイントを、入学時引き継ぎすることができます。

Aさんの例



Aさんはお兄さん役員とお手伝いで6年生までに合計2.6ポイントGET!
妹さんで3年生までに0.4ポイントGET!
お兄さんの0.6ポイントを、妹さんにスライド可能。
Aさんは、妹さんの3年生終了時に1ポイント保有していることになる。



お兄さん6年生



妹さん3年生



Bさんの例



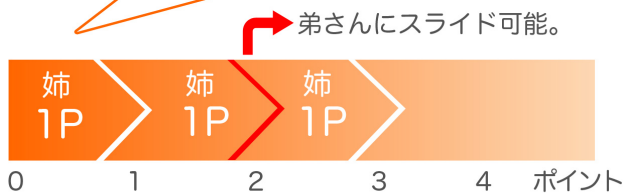
Bさんはお姉さん役員とお手伝いで5年生までに合計3ポイントGET!
お姉さんの1ポイントを、弟さんにスライド可能。
Bさんは、弟さんの入学時に1ポイント保有していることになる。



お姉さん5年生



弟さん年長



②スポットポイント制とは？

年間を通して役員のお手伝いできないご家庭で、その年にPTA役員ではない方に行事などでお手伝いを募り、付与されるポイントです。

- ・草むしり、パトロール 0.1ポイント
- ・宮前まつり 0.2ポイント

※現在は一律0.25ポイントですが、仕事の負担などを加味してお手伝いごとにポイントが変更になりました。

※今後、PTA活動の仕事に内容にあわせ、お手伝いの項目が増えていく可能性もあります。

③永久不滅ポイントの廃止について

従来の永久不滅ポイントの制度は、令和4年度より廃止になります。なお、令和4年以前に永久不滅ポイントを獲得されたポイントはそのまま有効です。

本部役員をされた方は、5年間役員が免除になります。

※ポイント制について不明点については、本部役員までお問い合わせください。